

(議長)

次に、小梅議員の発言を許可いたします。

「小梅議員」

はい。

(議長)

小梅議員。

「小梅議員」

はい。えーと。早速質問に入らせていただきます。第1問目。ふるさと納税のルール変更後の対応について伺います。

10月より、ふるさと納税の経費の算定ルールが変わりまして、返礼品や送料の他に仲介サイトなどの事業者への手数料も経費に含まれた合計が、寄附金の50%以下になるように決められました。

返礼品についても、地場産品の基準が厳しくなり、ルール変更後は、殆どの自治体が50%を超えると予想されていましたが、江差の実態はどうなのでしょう。何%位で抑えられているのかお聞きします。

それと、幸い寄附額は随分伸びているようですが、水産物の漁獲量が低迷している現状から、人気の商品はどのようなものが有るのか、お尋ねいたします。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

小梅議員からの、ふるさと納税に関するご質問にお答えいたします。

いわゆる、ふるさと納税に関しましては、独自の努力で財源確保に結びつけることができることから、令和3年に作成した財政基盤強化に向けた取り組みで2億円を目指すとしました。令和5年1月からの暦年ベースでは既に目標である2億円を超えており、残り一月となった令和5年度においても同じく目標額を確保できると見込んでいます。

ご質問の一つ目は、昨年10月に改正されました、ふるさと納税経費の算定ルール改正に伴い、江差町としてそれを順守できるかのご心配でございます。先ず参考として、令和4年度における経費率の実績をお伝えしますと49.5%で、今年度の経費率についても、新しいルールはしっかりクリアできるものと予測しています。

続いて、人気の返礼品についてのご質問でございました。こちら令和5年1月からの暦年ベースで集計すると、ベニズワイガニ関連と生うにの2種類で寄附総額の半分以上を占めています。ただし、議員ご認識のとおり水産物の漁獲量には好不漁の波があり、また返礼品取り扱い事業者の多くが高齢であることから、今後においては事業を継続していける準備について、各事業者へ促しが必要と考えております。いずれにしましても、今後とも安定的な財源確保に向けて、ふるさと納税の増額に向けた取り組みを強化して参ります。

「小梅議員」

議長。

(議長)

小梅議員。

「小梅議員」

はい。わかりました。

それでは2問目にいきます。ニシンの活用について伺います。

和食がユネスコの無形文化遺産に登録されて10年が過ぎました。農水省がホームページで紹介している北海道の郷土料理は三平汁です。

江差はニシンの繁栄が息づく町のストーリーで日本遺産に認定されながら、今ニシンの活用が目立っていません。

2月のなべ祭りでも、昔風の三平鍋とは様変わりしていて、時代の流れを感じました。たしかに郷土料理は食の多様化や家庭環境の変化で、受け継ぐのは難しく、次世代に繋げていくことが困難になっています。ですが、江差にとってニシンは、重要な産物です。昔からの庶民の味として、気軽に食べられる様な仕組みが出来ないものでしょうか。今年も群来が確認されたり、漁も本格化して明るい兆しの中、消費拡大に向けての対策が如何か伺います。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

小梅議員からの2問目、ニシンの活用についてのご質問にお答えいたします。

ご案内のとおり、この地域は江戸時代から明治時代にかけてニシン漁とニシン加工品の交易で栄えましたが、次第に資源量が減少し、大正時代にはニシンの回遊が見ら

れなくなりました。

現在、檜山管内各町と連携を図りながら、地域の歴史・文化に根付いた特別な魚であるニシンの復活を目指し、ニシンの種苗生産と放流等を実施しており、平成28年からは北海道の支援を受けながら、年間100万尾の種苗生産と放流を行っております。平成29年2月には104年ぶりとなる群来が確認されたほか、今年2月24日にも、かもめ島前浜で群来が確認されています。ひやま漁協江差支所の水揚げを見ると、平成29年には1トンにも満たなかったニシンの漁獲量が、令和5年には17.9トンまで増加しており、種苗生産・放流などの取組が資源量・漁獲量の増加に寄与しているものと考えております。漁獲量が増加し、ニシンの旬である春先にスーパーの魚売り場へニシンが並ぶ光景が日常化してきたことを契機として、ニシンの消費拡大とニシンを活用した食と観光の展開を図り、地域経済活性化につなげていくことが重要であると考えています。

昨年、日本遺産が再認定となり、改めて当町のストーリーであります、江差の五月は江戸にもない～ニシンの繁栄が息づく町～を題材にしたまちづくりを進めることとしており、その中で、ニシンを中心とした食に関する事業の展開を図ってまいります。

また、これまで、江差町観光まちづくり協議会を通じて、およそ2,000kgの江差産ニシンを確保し、ニシンを活用した商品開発のほか、年間を通じての町内の飲食店での提供や各種イベントでの活用を図ってきたところですが、ニシン三平汁、ニシン漬け、ニシンそばといった郷土料理の保護と継承、ニシンの消費拡大を図る観点から、各種イベントでのニシン料理の提供機会の拡大、飲食店などでのニシン料理の提供の促進、ニシン料理を学ぶ機会の創出などについて検討していきたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

「小梅議員」

議長。

(議長)

小梅議員。

「小梅議員」

よろしくお願いします。

えーと、私方も、あの一小さなかあちゃん食堂っていうのをやってるんですけども、たまたま旅行などで寄ってくださる方がいまして、そういう三平汁を食べると、こういうのを道の駅では是非やって欲しいって、そういう声をよく聞きます。あとラーメンとかそういうのはどこでも食べられるんだけど、こういうものっていうのは本当に食べられないから、こういうとこ江差とかにきた時に、気軽に食べられるような、あの一ものがあればいいなって、よくそういう声を聞きますので、言っておきます。

それから、北海道なんかからでも随分あの一こういうお魚フェアとか、ニシンとかこういうものが、うちらみたいなちっちゃな所にも案内が来ます。これは2月中にやっている事業ですけど、だから、すごくみんな力をいれているだと思って感心していますので、江差もどうぞよろしくお願いいたします。

それから、今日のお弁当の中に大きな魚の切り身が入っていました。あんな大きい切り身が入っているのはちょっとお弁当の中でも珍しいものですから、大抵シャケとかそういうのはわかるんですけど、他の魚で大きな切り身が入っていました。こういう風な切り身がニシンとして、あの沢山食べられれば、もっともっと消費が広がるのかなって思ってます。よろしくお願いします。

それでは第3問目いきます。

えーと少年、子供たちの居場所についてでございます。

家庭内での諸問題や学校でのいじめ等で居場所を失い、相談する人も無く、孤独感到に陥る少年たちが随分おります。

同じ境遇での知った顔を求めて、広場、その広場が居場所になっているんですね。そこに集まる少年たちの迷惑行為が社会問題になっています。

最近では、ワゴン車の座席の無い後部にカーペットを敷き、テーブルを置き、住宅のリビングのように仕立てて、どこにでも出向ける居場所としてのリビングカーでの支援も出てきているようです。

江差では、コミュニティプラザえさし内の中高生用のシェアスペースが、正に子供達の居場所になります。明るい笑顔と元気な笑い声が飛び交う様子を想像して、楽しくなりますが、教育委員会、若しくは教育長さん個人の自身の考えでも結構です。居心地の良い場所づくりの為の利活用をどのように考えているか教えてください。

「教育長」

教育長。

(議長)

教育長。

「教育長」

えー小梅議員から子供の居場所についてのご質問についてご答弁いたします。

子どもの居場所づくりは、家庭・学校をはじめ、子ども達が安全・安心に過ごせる環境を提供していくことが必要であり、教育委員会といたしましても、この間、運動公園内に新たに子どもふれあい広場の整備を行ったほか、冬期間の子どもの運動不足等を解消するべく文化会館大ホールを活用した、わくわく子ども広場の開催、さらには、図書館のフリースペースの開放などを行ってきたところでございます。

議員からは、この度整備されるコミュニティプラザえさしの中高生用のスペースの

利活用について、どのように考えているかとの主旨のご質問でございますが、今回整備される中高生用スペースに限って申し上げますと、子ども達が自由に利用できる場所として整備されることから、教育委員会として特定の利用は考えてございません。

一方、施設全体を通しての利活用については、各スポーツ少年団のレクリエーションや、シニアカレッジ江差学園での活用のほか、世代を超えた交流など、施設の機能を有効に生かした社会教育事業の取り組みを行って参りたいと考えております。

また、学校教育の観点からは、マチ歩きや調べ学習など、社会科や特別活動の時間を利用した活用や、子どもたちの絵画や書道の展示などギャラリーとしての利用など、教育委員会といたしましても、マチの新たなランドマークとして、子どもから高齢者までの幅広い世代が集い、生きがいや幸福、そして何よりも楽しいをキーワードに、未来に希望が持てるよう、持てる施設となるよう学校や各団体などと連携し、様々な活用機会の創出を図って参りたいと考えておりますので、ご理解願います。

(議長)

小梅議員よろしいですか。

「小梅議員」

ありがとうございました。

(議長)

以上で、小梅議員の一般質問を終わります。